



澁澤倉庫株式会社

〔創業年〕1897年 〔従業員数〕1289名(グループ就業人員数)

〔事業内容〕物流事業(総合物流サービス/倉庫保管、流通加工・港湾運送・陸上運送・国際輸送)、不動産事業

〔請求書処理枚数(月間)〕約1万枚

経理と財務で進める経理DX 収益力向上に貢献する経理・財務になる

1897年の創業以来、総合物流企業として発展を続けている澁澤倉庫株式会社。
毎月届く1万件の請求書の処理業務を効率化するため、Bill Oneを導入しました。
導入によって同社の経理業務はどのように変わったのか、山村和史氏にお話を伺いました。



【お話を伺った方】

澁澤倉庫株式会社 経理部 副部長 兼 主計課長
山村 和史 氏

1992年に澁澤倉庫株式会社入社。運送・倉庫の現場部門への配属後、営業所長および関連会社の管理全般の統括業務を経て現職。主計課長を兼務し、経理実務、税務に従事している。

導入の効果



ペーパーレス化により
業務工数やコストを削減



業務が平準化され、
経理の月初の残業時間を削減



経理業務のスピードが増し、
収益力向上に貢献

導入前の課題

- 紙の請求書が多いために業務工数が膨大で、保管にもコストがかかっていた
- 経理部門において、請求書の締め作業が集中する月初の残業時間が多くなっていた
- 社内監査や税務調査の際、過去の請求書を探して取り出す作業に手間がかかっていた

“ 15年経っても、ほとんど変わっていなかった経理業務。
紙文化が根強く、業務効率化の必要性を強く感じました ”

—— 事業内容と、経理部の役割について教えてください。

当社は、倉庫業務や陸上運送業務をはじめとする物流事業を主に手掛けています。具体的には、国内外において飲料や日用品から工業製品にいたるまでの広範な製品に対して、保管・輸配送・加工・輸出入フォワーディングなどの物流サービスを提供しています。

経理部には16名が所属しており、主計課と財務課の二つの組織があります。主計課は決算・経理・税務を、財務課は資金管理をそれぞれ担当しています。

—— 導入前に感じていた課題について教えてください。

当社には毎月1万件の請求書が届きます。その半数以上の5000～6000件は、支払期日の関係上、月初に締め作業をしなければならないものでしたので、必然的に月初の特定期間に処理業務が集中していました。その時期は、遅くまで残業をすることも常態化していました。

受領する請求書の8割以上が紙だったため、支払いまでの処理が終わった請求書はファイリングして、段ボール箱に詰め、保管していました。その数は年間で150箱ほどになり、それを7～10年間保管しなければなりません。また、社内監査や税務調査に向けて、保管した書類はすぐに取り出せるような仕組みにしておく必要があります。いくら仕組み化していても、実際に特定の書類を取り出す際は、相応の時間や時間がかかっていました。

私は一度経理部で仕事をした後、他の部署を経験してから15年ぶりに戻ってきたのですが、相変わらず紙が積み、段ボール箱がずらりと並び、紙文化やはんこ文化が根強く残っ

ていました。世間では、スマートフォンなどの機器が普及してデジタル化が進んでいるというのに、離れていた15年間で経理業務はほとんど変わることなく、アナログなまま。世の流れとしてペーパーレスやDXも進んでいる中で「このままではいけない」と強い危機感を抱くようになりました。

—— システム導入を検討し始めたきっかけは何ですか。

経理部としては、電子帳簿保存法(電帳法)の改正やインボイス制度の開始によって業務負担が増えれば、手作業で対応できる許容範囲を超えてしまうため、何かしらのシステムを導入しなければ業務をこなせないだろうと考えました。ただ、当時はすべての請求書を対象にしていたわけではなく、従来の業務フローのままでは法的要件を満たすことができない部分だけ対応できればいいと考えていました。「便利なシステムを導入して、変革を引っ張ってもらえたらありがたい」という漠然とした考えしか持っていませんでした。

しかし、情報システム部門から、「法対応は業務フロー全体を変革するチャンスであるため、この機を逃したくない」と、真剣にデジタル化を進めるよう強い要請を受けました。特にインボイス制度に関しては、経理部以外の部門にも影響があるので、「現場の負担が大きくなりたくない、何とか対策してほしい」という声が、社内のあちこちから上がっている状態でした。

結果的に、情報システム部門の協力を得て、経理部だけでなく、全社における経理業務の効率化を意識しながら一歩を踏み出すことができました。経理部単独では、大きな変革は難しかったかもしれません。

“経理だけでなく現場での使いやすさから Bill One を選定。 「これを使えばきっと業務を効率化できる」と想像できました”

—— Bill One を選んだ決め手は何でしたか。

決め手となったポイントは大きく三つあります。一つ目は、サービスへの安心感とセキュリティに関する取り組みです。Bill One を提供しているのは、営業DXサービス「Sansan」を提供し、実績を積んでいる企業である、という信頼がありました。安心感があったので、導入を上申する際もスムーズだったと思います。また、請求書のデータは重要なものですから、強固なセキュリティ対策がなされているかどうかも大切でした。

二つ目は、データ化の正確性とスピードです。Bill One に請求書が届いたら、遅くとも翌営業日中には正確にデータ化されます。特に急ぎのものは自分たちでスキャンしてすぐに Bill One にアップロードすることで社内でも共有できるという柔軟性も兼ね備えており、利便性が高いと感じました。

三つ目は、シンプルな仕組みと直感的に分かりやすい操作性です。例えば Bill One の承認フローでは、画面上ではんこを押して承認が進んでいくようなUIになっているため、はんこ文化に慣れた年配の社員にも親しみやすく、一目でステータスを把握できる点が良かったです。われわれ経理部だけでなく、現場の社員たちも抵抗なく利用でき、業務を効率化できるイメージが湧いたので、Bill One に決めました。

—— 導入に当たり、社内で工夫されたことはありますか。

本格導入前に、現場の部門でも問題なく運用できることを実証するために、約2カ月にわたって三つの部署でトライアル導入を行いました。受け取る請求書の数が多い部署、国際的な取引がある部署、それから2～3名が所属する小規模な部署といったように、利用シーンにバリエーションを持たせて効果を検証したいと考えたからです。

並行して、全国50拠点を6つのエリアに分けて、各地の主要拠点に担当者を集めて現地で説明会を実施しました。社内向けの操作マニュアルを作り、説明会には経理部の若手スタッフに同行してもらって、Bill One の画面を見せながら説明しました。

各地では、思ったより抵抗も少なく、ポジティブな反応を得られてほっとしました。「こういうふうにしたいから、こうできませんか」といった前向きな意見をたくさんもらい、Bill One 側が応えてくれたこともありました。「請求書の枚数が多いと作業工数が増えるのではないかと懸念する人もいたのですが、実際に利用してみたことで Bill One の分かりやすいUIや使い勝手の良さを実感でき、「意外と早く、簡単にできるんだな」と不安を払拭できたと思います。

Bill One 導入の決め手となったポイント

強固な
セキュリティ



データ化の
正確性とスピード



シンプルな仕組みと
直感的に分かりやすい操作性



経理部門だけでなく現場部門にとっても使いやすいかどうかを重視

“請求書の枚数が増えるほどに、効果を実感しています。 Bill Oneを活用できる領域はさらに増えていくはずです”

—— Bill Oneの導入効果を教えてください。

何よりも請求書処理にかかっていた時間を大幅に短縮することができました。押印したり、申請書類を手書きで作成したりといった作業を省略でき、処理のスピードが上がりました。

また、Bill One上ですべての請求書の処理状況を一元管理できるようになったので、その後の支払い業務もずいぶん楽になったと感じています。Bill Oneから出力するCSVファイルのデータと銀行への送金データを、社内プログラムを組んで連携させて自動でマッチングするようにしているので、1件ずつ目視で突合する必要もなくなり、時間や手間の削減にもつながっています。加えて、特定期間に集中していた請求書の処理業務を分散させることもできています。このように効率化や業務の分散が進んだことで、以前は締め日前後に多くなっていた経理部の残業もほとんどなくなりました。また、電子データの保存によって会計監査や税務調査対応のような過去のデータが必要になったときの検索や、インボイス制度における適格請求書の要件判定が容易になり、本当にありがたいと感じています。

現時点では電子で請求書を発行している取引先は約半数ですが、2024年10月からの郵便料金の値上げに伴い、電子での発行が増えていくと予想しています。Bill Oneで請求書を受

け取ることで、蓄積されていくデータがどんどん増えていき、Bill Oneを活用できる領域も広がっていくでしょう。

—— 今後の展望を教えてください。また、デジタル化を検討している企業へのアドバイスをお願いします。

Bill Oneの導入により、経理部はもちろん、請求書業務に関わるあらゆる部署での業務効率化やコスト削減を実現することができました。経理部の業務のスピードが増したことで、より早く、より正確な情報が出せるようになり、計上処理が素早く完了できるようになりました。時間の削減によって、今後ますます企業としての収益力向上にも貢献していきたいと考えています。

当社が直面していた法対応やペーパーレス化といった課題は、どの業界、どの企業でも同じように抱えているものではないでしょうか。導入当初は苦労もあるかもしれませんが、最初に手厚くサポートして不安を取り除いておけば、後は大きな抵抗なく運用を軌道に乗せられます。経理部門だけで対応するのが難しい場合は、他部門に協力を仰いで巻き込みながら、それぞれの長所を生かして、着実に進めていくことが大事です。それがきっと、大きな成果につながると思います。

Bill Oneの導入で得られた成果

請求書の処理業務の
スピードが向上



過去の請求書の
検索が容易に



計上処理が
素早く完了できるように



経理部を、企業の収益力向上に貢献できる組織へ

請求書受領から、月次決算を加速する

Bill One

powered by Sansan

Bill Oneは、Sansan株式会社が提供するインボイス管理サービスです。

さまざまな形式・方法で届く請求書をオンラインで受け取り、

請求書業務を効率化することで、企業経営における意思決定のスピードを向上させます。

請求書を発行する企業



郵送



メール添付



アップロード

Bill One

ワンストップ受領

請求書の発行元には、これまで通りに請求書を送ってもらうだけ。
紙の請求書は代理で受け取り、面倒なスキャンも行います。

99.9%*の精度でデータ化

AI、OCR、入力オペレーターが、99.9%という高い精度で請求書をデータ化。
請求書の受領やデータ化の完了を担当者にメールで通知します。

クラウド上で一元管理

データ化された請求書は、専用のデータベースで一元管理できます。
検索が簡単になり、他のシステムと連携させて活用することもできます。

Bill Oneの契約企業



* Sansan株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

3つのメリット



あらゆる請求書を
オンラインで受け取れる



法改正に対応した
業務フローを構築できる



経理部門に限らず
組織全体の生産性が上がる

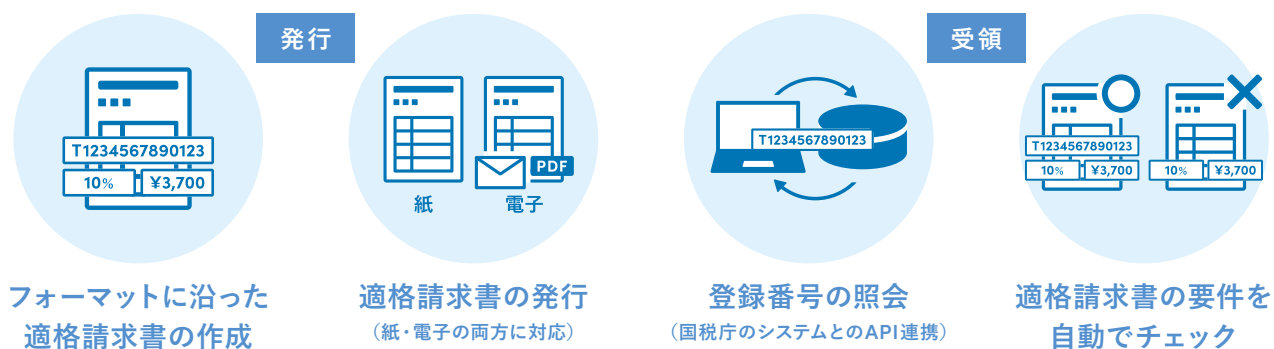
請求書に関する法改正には、Bill Oneが対応します。

2022年1月1日に改正が施行された電子帳簿保存法や、2023年10月1日に開始されたインボイス制度など、
Bill Oneを導入することで、法制度に対応した体制を構築することができます。

インボイス制度

2023年10月1日から消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されました。
適格請求書(インボイス)は、税務署長に申請し、登録された課税事業者のみが発行できます。
請求書の受領企業が仕入税額控除を受けるためには、インボイス制度への対応が必要になります。

適格請求書の受領だけでなく、発行にも対応しています



電子帳簿保存法

電子帳簿保存法(電帳法)により、電子請求書は電子保存しなければならなくなりました*。
紙の請求書にも対応しながら、電子請求書を取り扱う必要があるため、
コストをかけずに混在する紙と電子の請求書を一元管理する方法が求められています。

電帳法で定められた保存要件を満たして、請求書を電子保存します



* 2022年1月から2023年12月31日までの間において電子取引によって授受した電子データ(請求書を含む)を保存要件に従って保存することができなかったことについて、やむを得ない事情があると認められ、かつ、その電子データについて出力書面(整然とした形式・明瞭な状態に限る)を提示または提出できる場合には、引き続き保存期間終了まで出力した書面による保存が可能となります(令和4年度税制改正)。

* 2024年1月1日以降に授受した請求書を保存要件に従って保存することができなかったことについて、相当の理由があると認められ、かつ、その請求書について電磁的記録のダウンロードの求め及び当該電磁的記録の出力書面(整然とした形式・明瞭な状態に限る)を提示または提出できる場合には、保存要件を不要として、電子データの保存が可能となります(令和5年度税制改正)。

Bill One
powered by Sansan

お問い合わせ | デモ依頼やお見積りについては、お気軽にお問い合わせください

bill-one@sansan.com

<https://bill-one.com>

 **0800-100-9933**

Sansan株式会社 [本社] 〒150-6228 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ 28F